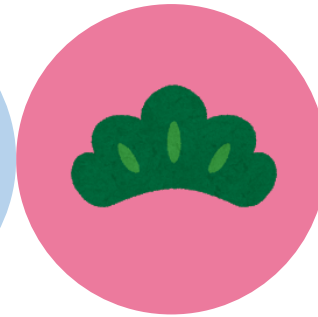
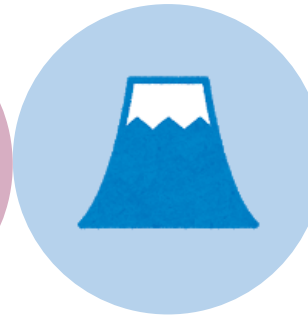
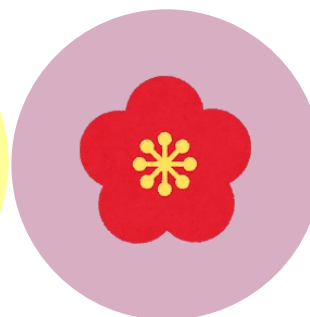




2 0 2 1



社会福祉法人 京都光彩の会

# 光彩だより

令和3年冬号

## ❄️ 特集記事：利用者の『新年の抱負』

…京都市朱雀工房（就労移行支援・就労継続支援B型）・ワークステーションかれん工房（就労継続支援B型）・

西山高原工作所（就労継続支援B型）・グループホーム『賀陽』『山ノ内』『光』（共同生活援助）

## ❄️ 『ぴあHAPPINESS通信』スタートしました！

…京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

## ● 巻頭言

### 「新しい年を迎えて」

平素より、皆様には京都光彩の会の運営にご理解、ご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

二〇二一年を迎え、はや二か月が経とうとしていきます。昨年から続く新型コロナウイルス感染症は年末年始を挟んで感染に拡大を見せ続けています。一月上旬に関東圏、次いで一月中旬に関西圏にも緊急事態宣言が発令され、さらに、三月七日までの延長が決まりました。私たちの身近なところでも感染者に関する情報を耳にすることが増え、落ち着かない日々を過ごしています。

昨年は、これまで経験したことのない日々の連続でした。“三密”や“ソーシャルディスタンス”も日常的に使用される言葉となり、感染防止策をとることが日常となった今、感染が収束した後も果たして以前の生活に戻れるのかという不安があります。“人ごみで咳をしたら目の前の男性に睨まれた。それ以来外出するのが怖くなった”“電車の中で少しマスクを外している周囲の人から注意を受け、それ以来電車に乗るのが怖くなった”…。利用者の相談内容からは周囲から突き刺さる視線に大きなストレスを抱えている様子が伺えます。

私たちの仕事は利用者の声に耳を傾けることから始まります。当法人の基本理念である“利用者”と“向き合い”“寄り添い”“共に考え”“共に歩む”そして誰もが人生の主役に“を改めて見つめなおし、困難な状況の中でも利用者の不安や戸惑いに寄り添いながら、希望をもって共に歩む支援者でありたい”と思っています。

最後になりますが、今年一年が皆様にとって希望の持てる年となります様、祈念いたします。

社会福祉法人 京都光彩の会

統括施設長 中條了



# 特集記事 京都光彩の会 利用者の『新年の抱負』

各事業所メンバーの皆さんに、今年一年の抱負をお聞きました！

## 京都市朱雀工房のメンバーの方の声

### 新年にあたり、「これから先、どんなふうになりたいか」



#### ★就労継続支援B型のメンバー

充実できる朱雀工房の業務につきたいと思います。  
技能やスキルだけではない日常業務もコツコツと真面目に続けたい。

年相応の生活ですが、社会の在り方が変わった事にも注意して、恥じない社会人となることです。資本主義における私の役割を終えた事の実感と、その先の目的を見出したいと思います。

きはら ひさかず  
木原 寿一さん



うちわ絵 うめ

安定した生活をしたい。幻聴のことをもっと知りたい。幻聴が聞こえても流すようにしたい。愚痴をこぼさない。料理に挑戦したい。ひとを助けるような仕事がしたい。40歳～45歳までに仕事を見つけない。朱雀工房にしっかり通っていききたい。

食生活等を見直してより良い毎日を送りたい。さらにいろいろな知識をつけたい(特にITスキルなど)。体調の波が少しでも穏やかになるよう願う。

#### ★就労移行支援のメンバー

ある程度、長時間睡眠になるのを改善させていく。  
週5日通えるようになる。

病院へ行く以外は休まず通所して、ペースを乱したくない。  
面接を受けていきたい。

薬がなくても大丈夫になりたい。就職活動を進めていきたい。面接の練習をする。

できるだけ不安に襲われないようにし、少しでもいいことを考えないようにする。  
好きなパソコンを更にスキルアップし、今自分に出来ることを一生懸命する。



#### 今年の抱負

冬がどんなに寒く厳しくても必ず温かな春が訪れ、  
メジロが育つ梅を喜び様に体調を崩し倒れても立ち上がる意欲を持ち自分らしく元気で暮らしこのコロナ禍を乗り切りたいと思います。

愛は勝つ。  
愛はジュエルより全てを輝かす。  
愛の戦士 目指します。  
呼吸するように愛を注げる人になりたい。  
悲しみやトラブルすら宇宙からの応援。  
波乱万丈とんとい。  
宇宙は絶対に私を困らせない。  
愛はシェアしても無くなるはない、みんなでどうぞ。  
愛は時代に合わせて変化する。  
たとえ世の中が軽微といえど  
心にはこの胸にはいつ愛を。  
何事も勉強×2 経験×2 一歩一歩。



#### ー変化ー

時代に合わせて個人等が  
変わるのが必要な時代。  
(例) 自分の事しか考えられない方が  
相手の気持ちになって  
考えられるようになるとか...

#### 自己管理

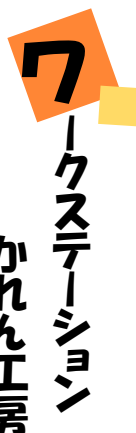
体調・支出・書類の管理を見直したい。

コロナで外に出られない分、家のことをできるだけはやくして  
いきたいと思います。

自分自身の今年の目標は『成長』である。年々年ごとに考えている  
昨年は希望という目標で、一年頑張ったことだった。

今年も自分の中で叶えたい目標 頑張りたいことなど。

体調に気をつけながら、病気に負けないで過ごす

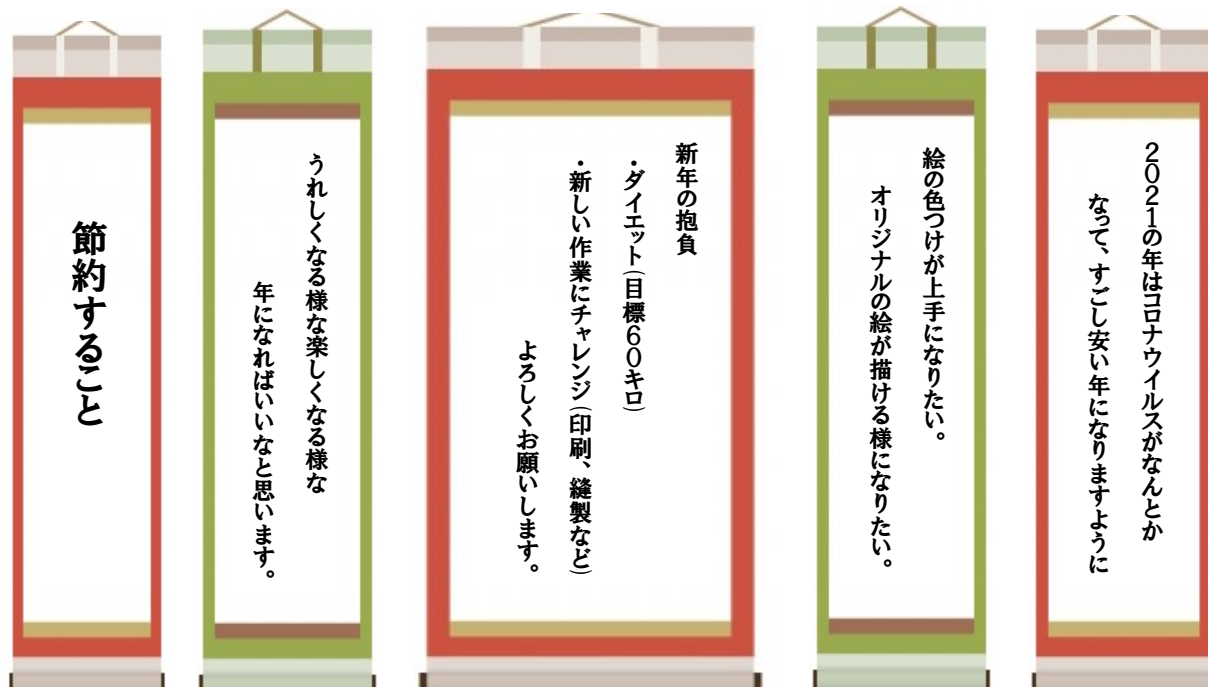


# あけましておめでとう 2021年の抱負!



西  
山高原  
工作所

1月4日に行った初会にて、メンバーのみなさんから「新年の抱負」の思いを書いてもらいました。その中の一部ですが、紹介させていただきます。



グ  
ループホーム  
賀陽・山ノ内・光

グループホームでは、「一年の抱負」をテーマに、入居者の方々に書初めを書いていただきました。「中学生以来やってないなあ...」、「字は上手くないけどやってみます」と口にされつつも、お一人お一人の個性が溢れたとても素敵な作品が出来上がりました。

「周りの人への感謝を大事に」と兄が言っていて、自分も大事にしたいと思いました。



今年だけではなく  
ずっと大事にしている言葉です。

文字は皆さんご自身で考えて下さいました🌸

いつも「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。







## ぴあHAPPINESS通信 スタートしました！

『支援センターなごやか』では長期にわたり精神科病院に入院されている患者さんの退院支援をピアサポーターさん(同じ病気や入院などの体験がある仲間)とともに行っています。

昨年からのコロナウィルスの影響で、病院訪問や講演活動が次々と中止となり、この状況下でも何かできることがないか、ピアサポーターさんとも話し合いを重ね、以前から構想にあったピアサポーターの広報誌『ぴあHAPPINESS通信』を昨年十一月より京都光彩の会WEBサイトに掲載することになりました。

内容はピアサポーターさんの体験談、普段の生活の様子、ピアサポーターさんが出かけた先の写真などなど、精神科病院で長期入

院をされている患者さんに、地域生活のイメージが届くような内容を盛り込んでいきたいと思っています。現在も第二号、第三号の準備も進めており、今年度中に次号の通信が掲載される予定です。

『ぴあHAPPINESS通信』に掲載されているピアサポーターさんの体験談は文字数の関係等で少ししか載せられないのですが、講演等で要望に合わせてお話いただくこともさせていただいております。ご依頼の方はぜひ『支援センターなごやか』(田中・高瀬)まで、ご連絡お待ちしております。(なごやか)



打ち合わせの様子：皆真剣そのものです。



## 編集後記

令和三年最初の光彩だよりは、各事業所に通う利用者の『新年の抱負』を取り上げてみました。不要不急の外出の自粛をはじめマスクや手洗いの励行など、社会生活をする上でこれまでとは異なる制約が求められています。このような社会で、利用者からも病気に打ち勝ちたい・丈夫な体や健全な生活を送りたいなど、逆境に負けない強い志を聞く事が出来ました。

(中林)

## 利用者大募集!!

### 就労 移行支援 就労 継続支援B型

京都市朱雀工房、西山高原工作所、ワークステーションかれん工房では上記の利用者様を募集しています。お気軽にご相談ください。

### 広報委員会 委員

中林 壮介 (西山高原工作所)  
中條 了 (支援センター「なごやか」)  
都竹 桃子 (ワークステーション かれん工房)  
高橋 恒明 (京都市朱雀工房)  
中村 美恵 (支援センター「なごやか」)  
松岡 芽以 (グループホーム 賀陽・山ノ内・光)



### 「京都光彩の会 後援会」会員募集のご案内

京都光彩の会では、法人の活動にご賛同いただける皆様に後援会へのご加入、ご寄附をお願いしております。詳しくは同封のパンフレットまたは法人ホームページ (<https://kyoto-kosainokai.jp/support/>) をご覧ください。

利用者と向き合い、寄り添い、共に考え、共に歩む そして誰もが人生の主役に



## 社会福祉法人 京都光彩の会

Social welfare corp KYOTO kosainokai, Inc

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30番地 京都市地域リハビリテーション推進センター1F

TEL : 075-813-0501 FAX : 075-813-0520  
URL : <http://kyoto-kosainokai.jp>



社会福祉法人京都光彩の会 光彩だより  
発行: 京都光彩の会 広報委員会  
印刷: 西山高原工作所